木曽圏域自立支援協議会だより

第28号
令和4年10月
発 行

編集・発行　木曽圏域自立支援協議会
事　務　局　木曽広域連合健康福祉課福祉係
住　　所　木曽郡木曽町日義４８９８－３７
ＴＥＬ　０２６４－２３－１０５０　／ＦＡＸ　０２６４－２３－１０５２
Ｅ－mail:　fukushi@kisoji.com

おしらせ
令和４年度木曽圏域自立支援協議会 全体会が開催されます

期　日：１１月２８日（月）１３：３０～
場　所：木曽合同庁舎２階　講堂
内　容：第一部　自立支援協議会 令和４年度活動報告
第二部　映画「道草」上映（９０分程度）
障がいのある方の日常生活が描かれています。
詳細については裏面をご覧ください。

お問い合わせ先：木曽広域連合健康福祉課福祉係
（ＴＥＬ：０２６４－２３－１０５０）まで
※当日、配慮の必要なこと（要約筆記、手話通訳など）がありましたらご連絡ください。

みなさまのご参加をお待ちしております。

障がい者に関するマークについて　その②

障がい者のための国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建物・施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマーク。
駐車場などでこのマークを見かけたらご理解・ご協力をお願いします。

※このマークは「すべての障がい者を対象」としたものです。
（特に車椅子を利用する障がい者に限定するものではありません。）

この街で暮らす

道草

みちくさ

監督　宍戸大裕

たったひとりの世界では、
自分は見えない。
道草をしながらふたりで
歩く散歩は、この世界とつな
がり、相手の瞳に自分を映し
出す時間。
こんな時間をすべての人が
持つことができたら、わたし
たちはもっともっと優しくな
れるだろう。
纐纈あや（映画監督）

はみ出していく。
よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わらなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとりはさびし、ふたりで歩く。
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。